

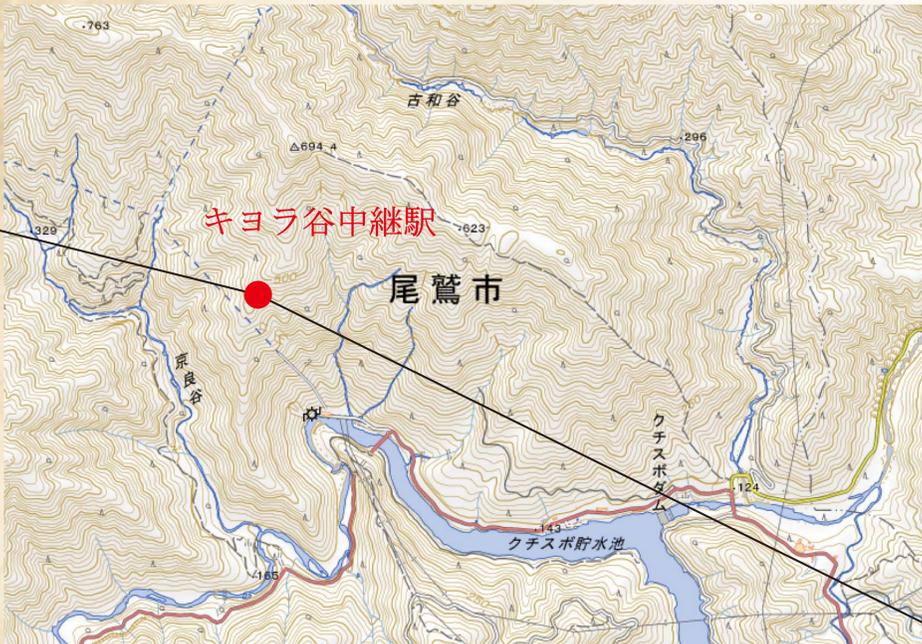
キヨラ (京良) 谷中継駅



キヨラ谷中継駅

きりどぞうせい
尾鷲湾を望む切土造成の駅

国土地理院の承認を得て切取り複製して使用しています



電源開発株式会社の許可を得て撮影

クチスポダム貯水池から望むキヨラ谷駅



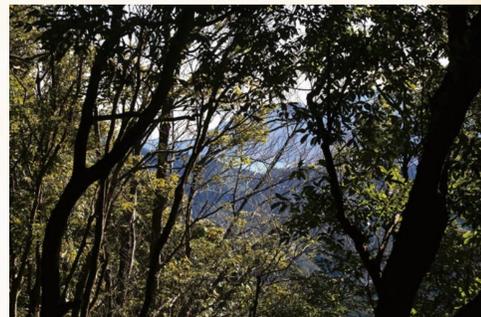
駅を取り巻く石積み



受索部品があちらこちらに散乱



散乱するレンガブロック



樹間から尾鷲湾を望む

河合停車場を出発した搬器は最後の中継駅キヨラ谷駅を通過する。ここで右に18度28分角度を変え、何枚田^{なんまいだ}に向かう。この駅からは尾鷲湾が一望でき、ここで勤務する人々は日々、尾鷲の海を眺めていたことだろう。

調査報告

3回目の調査で！



現在のキヨラ谷駅跡

キヨラ谷駅は山の斜面を大きく削り、その土砂を均して平地を造り、駅としたいわゆる切土造成の駅だ。国土地理院の地図を頼りに駅跡を探す調査は、尾根上部からと下部からの2回の調査が空振りに終わった。等高線の緩やかな場所に建つものだと思う先入観が失敗の原因だ。

尾鷲停車場



北山索道何枚田駅



現在の何枚田

河合停車場からおよそ4時間、ようやく尾鷲の停車場何枚田に到着する。古写真にレールが写っているが、ここから軌道で製材品などが尾鷲の港まで運ばれた。また、犬や牛が写っていることから、動物が動力としてトロッコを牽引したと考えられる。